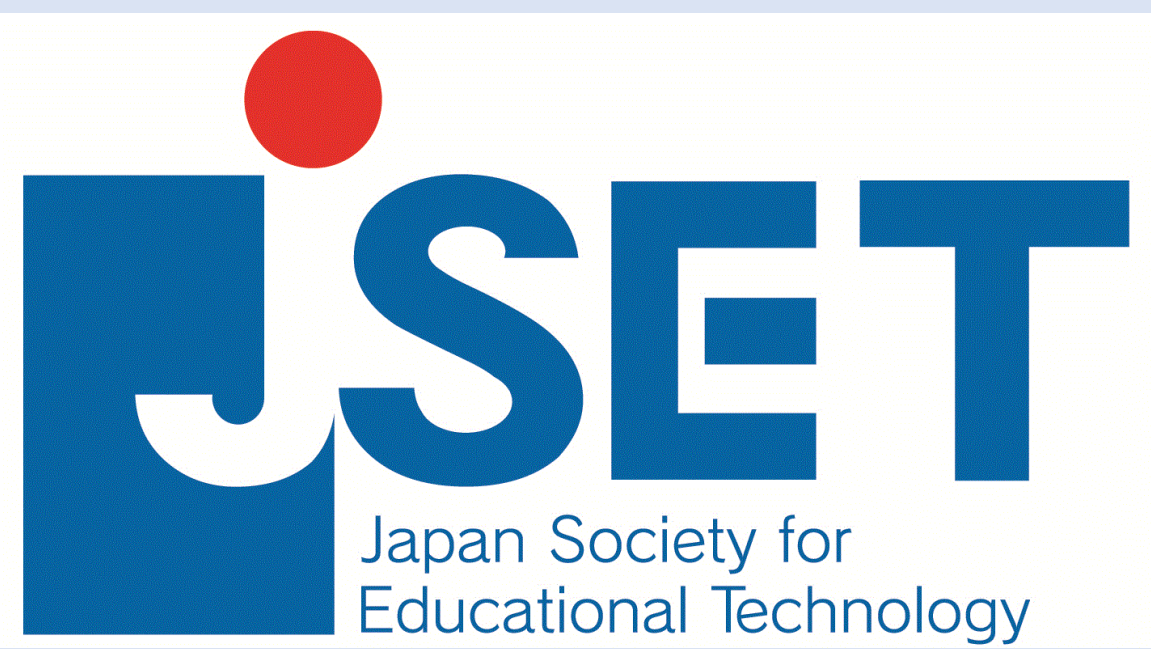


GPT-4 を用いた就活生の 自己分析支援対話システムの試作

橋本慧海， 白松俊 （名古屋工業大学）



キーワード：就活生，自己分析，キャリア支援，大規模言語モデル，対話システム

概要

- 1.就活生の企業選びの評価軸設定について
GPTベース対話システムが質問を投げかける
- 2.対話システムからの質問によって
価値観を揺さぶられながら価値観を明確化
- 3.新しい要素・考えに触れることで
より強固で理由付けられた価値観へ

背景

- ・ 新卒者の就職活動は競争が激化しており，採用者にとって魅力的に見せるための演技を行うことが増加（就職の目的化）^[1]
- ・ 職場の理想と実態の乖離は職務に対する不満やパフォーマンスの低下を招き，キャリアにも悪影響を及ぼす
- ・ 自身の本質的な価値観を把握し，キャリアを形成することは，持続可能なキャリアパスと職務満足にとって重要

実験設定・実際のUI

被験者	M1の就活生1名
媒体	Webアプリケーション
評価項目	対話前後の価値観の変化 対話ログの定性的評価



対話ボックス
ユーザの自己分析に効果的な
質問を投げかける
同時にフィードバックも出力

企業選びの7要素
事前用意した7要素
ドラッグ&ドロップで並び替え
要素の追加も可能

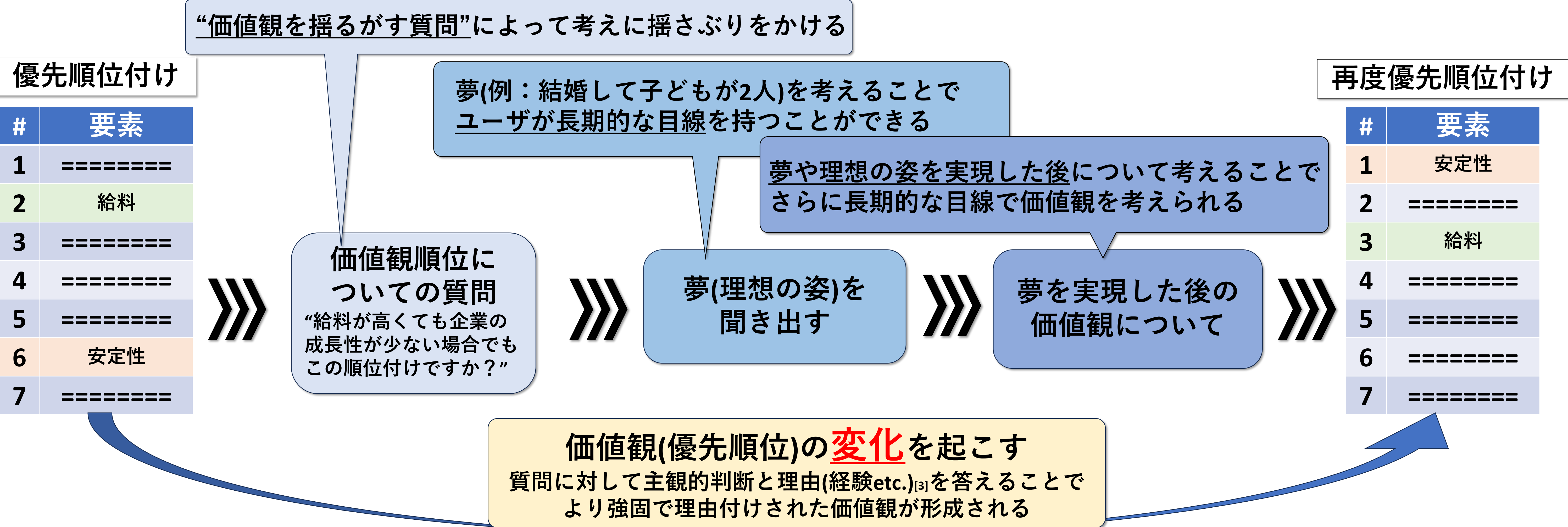
音声入力

対話フローの設計^[2]

ChatGPTへの指示「価値観を揺るがす質問をしてください」

本研究上での“価値観を揺るがす質問”の定義：
「自らの価値観を再評価し，深く理解するために彼ら自身の意見や考えを問い直させるような質問。」
(その他を約1500字で指示)

バックキャスト手法＋
キャリアアンカー理論



実験結果（対話例と順位の変化）

ユーザ：“いつか子どもに英語を学ばせたい。”
(前の発話では“週休2日なら休日にこだわりはない”と発話していた)

In 夢(理想の姿)を聞き出すセクション

システム：“どのような環境や制度があれば，
その夢は実現しやすいと感じますか？”

ユーザ：“育休制度のある会社にすれば実現できると思う。”

#	要素
・	・
5	会社のネームバリュー
・	・
7	休日及びワークライフバランス

順位が変動

#	要素
・	・
5	休日及びワークライフバランス
・	・
7	会社のネームバリュー

“子ども”という要素がキャリアプランに生まれたため順位が変動した

まとめ

- ・ 就活生の自己分析を支援するためにGPTベースの対話システムを開発した
- ・ 企業選びの評価軸から価値観を揺るがす質問を生成しユーザの考えを顕在化した
- ・ 価値観を**実際に変化させることができ**，システムの効果が示唆された

今後の課題

- ・ 対話フローのさらなる精査
- ・ プロのアドバイス求む！
- ・ 就活支援者等への情報共有の方法

そのユーザが揺らいだ質問，考えの変遷
ユーザのキャリアプラン etc..